

算 予

～新たな取り組み～

主なものを取り上げ、概要についてお知らせします。

佐志ニュータウン販売 助成金 300万円

土地開発公社への助成を行うことにより、分譲価格を引き下げるもので、本年度は、分譲の平均価格500万円の20%に当たる100万円の3区画が計上されています。

(主な質疑)

問 分譲に係る広報活動の計画は。

答 20%引き下げを前面に出したポスター、チラシ等により、町内外への広報を計画しています。



佐志ニュータウン

区公民館運営補助金 810万円

これまで定額18万円であった施設運営補助金の見直しを行い、18万円を最低額に、前年度の公民館維持費実績の9割程度が補助出来るように上乘せがなされます。

(主な質疑)

問 地区公民館施設の管理の考え方は。

答 これまでも議論がなされている課題であり、各区の不公平感がないような管理形態が望ましいので長期的にはその方向性で考えています。

小売業等店舗改装 支援事業費 500万円

平成18年度の豪雨災害以降廃止されていた同支援事業の見直しを行い、新たに実施されるものです。

補助対象の事業者は、商工会会員で、町内に住所や店舗を有するなど一定の条件があり、補助率は、事業費の20万円を超える部分の30%以内で、限度額が50万円となっています。



宮之城屋地商店街

青森県鶴田町友好交流事業費 327万円

合併前の旧鶴田町において交流のあった青森県鶴田町との友好交流事業に伴う予算です。

「ねふた」の寄贈に伴い交流を進めるもので、予算の主なものとしては、「ねふた」の移送費、製作や実演披露等に係る旅費などです。

(主な質疑)

問 交流事業による効果は。

答 九州新幹線の全線開通やこれまでの交流を活かし、文化の交流等を通じて人々のふれあいや、物流、観光交流が深まればと考えています。

子ども手当事業費 3億23万円

次代を担う子どもの健全やかな成長を社会全体で応援する趣旨のもとに創設された制度で、本年度は中学校終了までの子ども一人につき月額1万3千円が支給されます。

本町で該当する子どもの数は、約3千人で支給月は、6月、10月、2月です。

また、児童手当分を含む子ども手当で支給総額は、約4億7千万円となります。



6月に初めての子ども手当が支給される